

iRMC S6(integrated Remote Management Controller)

ご使用上の留意・注意事項

Fujitsu Server PRIMERGY に搭載されるサーバ監視プロセッサ iRMC S6(integrated Remote Management Controller) に関して、以下の留意・注意事項がございます。製品をご使用になる前にお読みくださいますようお願いいたします。

2023 年 9 月
富士通株式会社

【制限事項】

1. Red Hat OpenStack Platform 16.2 および 17.0 に関する制限事項

Red Hat OpenStack Platform 16.2 および 17.0 では SNMP V3 の使用時に SNMP 通信エラーとなるため SNMP V3 の使用を制限します。

なお、Red Hat OpenStack Platform はデフォルトでは SNMP V2c を使用します。デフォルトから SNMP V3 へ変更しない限り制限の影響を受けません。

2. E メール警告送信について

E メール警告送信の SMTP サーバの設定で、認証タイプを「SMTP 認証 (RFC2554)」にした場合、認証に失敗し E メールが送信できません。

※本件は iRMC S6 ファームウェア 1.15S 以降で修正済です。

3. ID ボタン長押しによる iRMC 再起動時の OS ハングアップについて

OS 稼働中に ID ボタン長押し(5 秒以上)による iRMC の再起動を行うと OS がハングアップする可能性があります。

これは ServerView Agentless Services がインストールされている環境で発生する可能性があります。OS 稼働中に iRMC 再起動を実施したい場合は、Web インターフェースまたは Redfish から実施してください。

また、OS がハングアップした場合は、以下のいずれかの方法を実施してください。

- (1) 電源ボタンを長押し(5 秒以上)して強制的に電源断する。
- (2) iRMC の機能で強制的に電源断する。
 1. iRMC Web インターフェースに管理者権限を持ったユーザでログインします。
 2. 右上の電源ボタンより、「即時電源オフ」を押します。

その後、iRMC の Web インターフェースまたは装置の電源ボタンで電源を投入し OS を起動してください。

※本件は iRMC 1.26S、2.31S で修正済です。

4. iRMC IPMI over USB 設定について

LAN over USB 使用中にホスト OS を再起動すると、下記のエラーメッセージが SEL に記録されます。

'USB Lan': Host <-> BMC interface error

ホスト再起動に伴う間欠的なエラー通知であるため、機能自体のエラーではなく継続して使用できます。

5. ホスト起動時の SEL について

ホスト起動時に下記の SEL メッセージが記録される場合があります。

BIOS backup from SD card to OS failed

マザーボード交換時の自動版数合わせ機能におけるバックアップ機能が一部未対応のために出力されるメッセージです。

本メッセージにおける機能影響はありません。

6. 電源冗長構成時の iRMC PSU 表示について

電源冗長構成において片方の AC ケーブルを抜き差しした時に、電源冗長状態が"冗長なし"の表示のままになる場合があります。その場合、Web インターフェースの再読み込みにより復旧してください。

7. iRMC Web インターフェース表示に関する制限事項

iRMC Web インターフェースの画面読み込みが完了せず、画面表示や一部の設定が出来ません。

本不具合は以下の条件をすべて満たす環境で発生します。

(1)以下のいずれかのモデル／iRMC ファームウェアバージョンの PRIMERGY を使用している。

PRIMERGY RX1330 M5／1.26S

PRIMERGY TX1310 M5／1.26S

PRIMERGY TX1320 M5／1.26S

PRIMERGY TX1330 M5／1.26S

※ iRMC1.24S 以前の版数では発生しません。

(2)リモートマネジメントコントローラアップグレードオプション(PY-RMC44、PYBRMC44)を購入、適用していない。

復旧方法：iRMC 1.24S 以前または 1.27S(2023 年 10 月公開予定)を適用ください。



※本件は iRMC 1.27S で修正予定です。(2023 年 10 月公開予定)。

※iRMC 1.26S は公開停止済です。

【留意事項】

1. リモート通報の設定方法について

iRMC S6 を搭載する装置ではサーバ監視・管理について、iRMC 接続が必要となりました。iRMC でリモート通報するためには、iRMC の SNMP トラップ、e-mail Alert の設定などを実施する必要があります。詳細は iRMC S6 のマニュアルを参照して設定してください。

『iRMC S6 - Web インターフェース』取扱説明書

『iRMC S6 - コンフィグレーションとメンテナンス』取扱説明書

2. Internet Explorer 使用について

Microsoft 社の Internet Explorer(以下 IE)サポート終了に伴い iRMC Web UI の IE 及び Edge の IE モードサポートを 2022 年 6 月 16 日(日本時間)に終了いたします。

サポート終了後は、『iRMC S6 - Web インターフェース』取扱説明書を参照し、Edge もしくは他のサポートブラウザをご使用ください。

3. AVR(Advanced Video Redirection)画面について

AVR 画面は VGA ポートの画面をリモート出力します。

DP 対応の CPU を搭載し、DP へ LCD を接続している場合は、DP 画面が 1st ディスプレイ、VGA 画面が 2nd ディスプレイと認識されます。

DP 非対応の CPU を搭載した場合や DP へ LCD が接続されていない場合は、VGA 画面が 1st ディスプレイとして認識されます。

AVR 画面が 2nd ディスプレイを表示している場合は、マルチディスプレイのレイアウト設定によっては操

作しにくいことがありますので、AVR を使用する際は、DP への LCD 接続を外して 1st ディスプレイとして使用することを推奨します。

4. iRMC REST API による HTTP 通信について

iRMC の REST API 発行で HTTP は使用できません。

Red Hat OpenStack Platform のデフォルト設定では、iRMC の REST API に対し HTTPS 通信を行います。

iRMC S6 は HTTP による iRMC の REST API をサポートしていないため、Red Hat OpenStack Platform ではデフォルトの HTTPS を使用してください。

5. iRMC IPMI over LAN 設定について

iRMC の IPMI over LAN は、デフォルト設定で無効になっています。

Red Hat OpenStack Platform 16.2 および 17 では IPMI over LAN を使用するため、設定を有効化する必要があります。

詳細は『iRMC S6 - Web インターフェース』取扱説明書を参照して設定してください。

– 以上 –